

もはら

第29号

平成二十五年は、第二祖日向聖人の七百遠忌です

題字・持田日男實首祝下

発行日 平成24年7月1日

発行所 千葉県茂原市茂原1201
日蓮宗東身延 本山濠原寺
TEL 0475-22-3153
発行責任者：増田 寶泉 総務執事

掲示板

日蓮大聖人大銅像建立 浄財勸募中



日蓮大聖人の大銅像を建立致します。

当山の檀信徒並びに

各寺院の御住職、檀信徒の皆様方、

銅像建立に賛同していただいける方々の

ご協力を心よりお待ちしております。

お早めにお申し込み下さいますよう

お願い申し上げます。

貫首様のお言葉

世界平和に対する願いと行動



今日のように地球社会が緊密化された世界の中で、地球全体の平和が未だ実現されず、未来における実現の可能性は充分にあると思われませんが、それには長い年月と膨大な人類の智慧と努力が必要とされます。

生物が本来持っている食物連鎖の中で弱肉強食の論理を変えていくのは人間の教習でしようし、それこそ仏教の教えであります。

取ってこのように言いますのは、他の宗教において自らの宗教の伸張を図るために闘争を繰り返すからであります。

仏教はそのような激しい戦いを繰り返したことはありません。

基となる東洋思想は、絶えず共生の思いを以て共存共栄を図ってきたからであります。

また法華経の普賢菩薩勸発品の中にある言葉「少欲知足」を実践してきました。

対して西洋思想は飽くなき欲望の充足と富の獲得を計ってきました。

近代文明の発展はその結果でありますが、現代における交通手段の発展は通信手段の進展

を促し、その結果のグローバルイゼーションは国際社会を普遍的なものにしてきました。あらゆる事象が相互に関連し合い影響し合うようになっています。

更に科学技術の発展は大量虐殺兵器を作り上げ、かつてのような世界的な大戦争を起すことは不可能となってきました。

しかし永い人類の発展過程の中で富の不分配は簡単に解消せず、富裕な国と貧困の国との格差は当分の間続いていくと思われまます。

それによって起こる経済的な混乱は国際社会に政治的にも不安定をもたらしております。

大きな紛争は未だ惹起してはおりませんが、その種子は随所に見られます。その種子を育てないために大聖釈尊の大慈大悲の平等大慧の教えを人類社会に浸透させていかなければなりません。

国際社会が平和であるよう祈りと行動を共通化していかなければならないと思えます。

それには富の再分配と欲望の抑制を図ることでありまます。

国家間では先進国の後進国への援助が当然のことでありまますが、私達一人一人が志して何か支援を考え実行することです。

更に野放図な欲望の充実は地球環境の変動を招き、地球資源の枯渇を及ぼします。

地球温暖化の危険が叫ばれて久しくなりましたが、未だ適当な手段が共通認識となっておりません。

「もつたいない」を全世界に弘めたアフリカ・ケニアのノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイ女史が亡くなったのは残念ですが、女史の精神を生かしていかなければなりません。

「少欲知足」は人間社会の中で生かされてい

る個人としての自戒の言葉であると共に、生かしてくれる他者に対する思い遣り心でもあります。今こそ「もつたいない」と同じように人類の共通語にならなければならぬではないでしょうか。

現代の聖者種徳初先生は人にとって一番大切なことは敬いの心を持つことだと教えて下さりました。

法華経の常不軽菩薩の中に「我深敬如等、不敢輕慢、如等皆行菩薩道、當得作佛」（私はあなた方を深く敬います。敬えて軽んじたり、侮ったり致しません。なぜならばあなた方は皆菩薩道を行じ、必ず仏になるからです）と常不軽菩薩があらゆる人に語りかける言葉があります。

「菩薩道を行じる」とは悟りの真理を携えて世界のため、人々のために慈悲を以て利他行を実践し、悟りの真理によって社会の浄土化（浄仏国土の顕現）の実現に務めることであるります。

現代の常不軽菩薩といえる中国の趙樸初先生は常不軽の精神を発揚し、「但行禮拜」云々のひたすらに礼拝する）に努められました。

先生の、あらゆる人をないがしろにせず、あらゆる人に慈愛を以て接し、全てを尊び大切にすることを心こそ仏教が国際社会に向かって世界平和を訴え実現する道でありましよう。

世界中の仏教を信する人々が国籍を超えて一つになつていくこと、共通の理念を確立してあらゆる時と所で富の平等と人種の平等を説き、その具体化のために常不軽の精神を以て「少欲知足」の実践を行っていくことを希求して止みません。

第三回世界仏教フォーラム香港大会

日本代表挨拶

持田日男

行事記録

○花祭り

(平成二十四年四月八日)

釈尊の生誕を祝う花祭りを厳修いたしました。今年も第一日曜日(八日)だったため、祥当のお誕生日に花祭りを行うことが出来ました。天候にも恵まれ快晴の中、大空前にて天童と保護者らと記念の集合写真を撮った後、茂原公園を行列を組んで練り歩きました。

茂原公園の桜も見事に咲いており、大勢の花見客で賑わう中を練り歩く事が出来ました。その後、大堂にて当山貫首持田日勇親下を大導師に釈尊降誕会が厳修されました。

今年も十六名の天童が参加し、花見堂に祭られた誕生仏に献花や献供を行いました。天童代表による祭文の読み上げの後、貫首親下から天童に参加証と記念品が授与されました。



○花祭りコンサート

(平成二十四年四月八日)

大堂での釈尊降誕会の後、仏殿にて二回目となる花祭りコンサートが行われました。

昨年と同様に「ブーケ・ドゥ・トン(音の花束)アンサンブル」の演奏が行われました。定員の二百名を超える観客が訪れ、仏殿は立ち見客が出る程の人数となりました。素晴らしい演奏によってコンサートは大盛況でした。仏殿前には新宿常圓寺を中心に活動している、ロシアスカフネがコーヒー等をサービスしていました。

○お題目初唱会

(平成二十四年五月十二日)

今回で十一回目となるお題目初唱会を五月十二日に執り行いました。

鎌倉時代に茂原一帯を治めていた時の領主齋藤兼綱公と近郊の墨田五郎時忠公の二人が笠森に日蓮聖人をお迎えに行つた故事に則り行なわれる『日蓮聖人お迎え時代行列』も今年で七回目を数えました。

御縁親音堂にて持田日勇親下による読経の後、十二時に行列は茂原小を出発しました。

行列には茂原寺をはじめ、実相寺、東光院、妙源寺、妙楽寺、妙弘寺、鏡濟寺、本久寺等、多くの寺院の檀信徒の参加を頂きました。また日蓮宗千葉西部雅成会や大多喜甲曹隊にも御協力頂きました。

總進を先頭に出発した行列は茂原駅前から榎町、昌平町を経て茂原寺に向かいました。行列は茂原寺仁王門前にて二手に分かれ、貫首親下扮する日蓮聖人や茂原市長田中豊彦氏

扮する齋藤兼綱公を雅楽の演奏やお題目で盛大にお迎えしました。

その後、二時半より大堂にてお題目初唱会を当山貫首持田日勇親下を大導師に厳修致しました。法要中に日蓮聖人御真筆の無量世界大曼荼羅が御開帳されました。

○茂原気合いマーケット

(平成二十四年五月十二日)

お題目初唱会と合わせて大堂前にて茂原気合いマーケットを開催いたしました。

大堂前にはMOBAーグランプリに輝いた北総駅炭火ココロ焼やケバブ、フリーマーケット等、多くの露店が出店していました。露店には時代行列の参加者をはじめとして多くの人で賑わっていました。

またエンディングセレモニーには昇鼓団やよさこいの演奏がされ、盛大に終了しました。



日蓮大聖人銅像寄附奉納者一覧

日蓮大聖人銅像建立の寄附に御協力いただき
 ありがとうございます。さようでした。
 今後とも御協力宜しくお願いします。
 (肩書きのないのは当山檀信徒です。)

平成二十四年三月一日〜五月三十一日

申込金額 寺院名 芳名

三十万円	安藤 順夫 殿	足立 宜夫 殿	長谷川 伊智郎 殿	花澤 雅久 殿	丸山 喜一 殿	横山 喜一 殿	佐川 えき 殿	鈴木 澄子 殿	谷本 忠美子 殿	谷本 キミ 殿	谷本 志彦 殿	谷本 正信 殿	中込 崇浩 殿	中村 敏之 殿	板倉 彪 殿	野崎 露子 殿	行木 日康 殿	佐怒 賀均 殿	佐怒 賀清一 殿	佐怒 賀英七 殿	佐怒 賀直市 殿	
百五十万円																						
百五十万円																						
百五十万円																						
百五十万円																						

合計金額
 総計金額

一万円	有馬 慶太郎 殿	有馬 佐和子 殿	行木 節子 殿	小沢 エイ子 殿	佐怒 賀すみ江 殿	佐怒 賀修助 殿	佐怒 賀昇次 殿	佐怒 賀静江 殿	佐怒 賀秀夫 殿	佐怒 賀弘司 殿	佐怒 賀光一 殿	佐怒 賀昭一 殿	佐怒 賀弘一 殿	佐怒 賀一 殿	加藤 貴宏 殿	高橋 政芳 殿	佐怒 賀憲子 殿	森川 公一 殿	佐怒 賀和子 殿	桑原 健二 殿	佐怒 賀清 殿	佐怒 賀一 殿	佐怒 賀政義 殿	初見 延男 殿	佐怒 賀隆 殿	佐怒 賀文夫 殿	佐怒 賀信行 殿	久我 清夫 殿	廣瀬 加代子 殿	五百九十二万円	一億四千五百九万円
-----	----------	----------	---------	----------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	---------	---------	----------	---------	----------	---------	---------	---------	----------	---------	---------	----------	----------	---------	----------	---------	-----------

行事案内

七月二十七日	(金)	九時 ホウロク灸
八月十五日	(水)	九時 孟蘭盆施餓鬼法要
八月二十四日	(金)	十時 川施餓鬼
九月二十二日	(土)	十時 秋季彼岸会法要
十月一日	(月)	十三時 宗祖御更衣式
十月三日	(水)	十一時 向尊殿大祭
十月十四日	(日)	十時半 観音堂秋季大祭
十一月十日	(土)	十七時 お会式
十一月八日	(土)	十五時 子育て観音大祭
十二月三十一日	(月)	二十二時 お焚上げ・除夜鐘

奉納

松本哲也様
 横堀せい様
 足袋沢山
 お茶沢山